

施策番号	1123		
施策名	高齢者や障害のあるひとの能力向上や働く場の確保		
概要	高齢者や障害のあるひとの能力向上を図り、就業の場の確保に努める。		
担当局	保健福祉局	共管局	なし
上位政策	112 すべてのひとがいきいきと活動する		

### 施策の評価

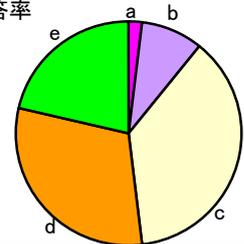
#### 1 客観指標評価

	18年度	19年度	20年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 障害のあるひとの通所授産施設等の施設数（人分）	a	a	1,360	1,390	51人分増	58.8%	c
2 シルバー人材センターの就業率（%）	d	c	71.4	68.0	93.9	72.4%	d
3 シルバー人材センター会員数（人）	d	d	4,464	4,699	499人増	47.1%	b
4 シルバー人材センターにおける就業延べ人員（人）	b	d	377,863	368,237	422,536人増	87.1%	e
5 障害者雇用率（%）	a	a	1.64	1.71	1.64	104.3%	a
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	b	b	客観指標総合評価				c

#### 2 市民生活実感評価

設問	高齢者や障害のあるひとの働く場が確保されている。					
回答	18		19		20	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	10	1.9%	8	1.8%	14	2.0%
b: どちらかというと思う	43	8.3%	41	9.0%	61	8.9%
c: どちらとも言えない	164	31.5%	135	29.7%	254	37.1%
d: どちらかというと思わない	179	34.4%	163	35.8%	209	30.5%
e: そう思わない	125	24.0%	108	23.7%	147	21.5%
有効回答数	521		455		685	
市民生活実感評価	d		d		d	

20回答率



- a: そう思う
- b: どちらかというと思う
- c: どちらとも言えない
- d: どちらかというと思わない
- e: そう思わない

\* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

### 3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	18	19	20
客観指標総合評価	b	b	c
市民生活実感評価	d	d	d
総合評価	C	C	C
重み付け	(理由)		
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標 <input type="checkbox"/> 市民の実感	雇用については国や都道府県の施策による影響が大きいいため、本市施策の実績を中心とした客観指標による評価を重視する。		

### 4 原因分析・今後の方向性

市民生活実感評価については、昨年度に引き続き d 評価となっている。客観指標については、障害者雇用率については前年度に引き続き a 評価となり、シルバー人材センターの会員数は年々増加傾向にあり b 評価と上がったが、就業機会は減少し d 評価と下った。授産施設数は目標値に到達せず c 評価と下がり、客観指標総合評価は c 評価と下った。高齢者や障害のあるひとの雇用環境は依然として厳しい状況にあり、今後とも、国や府とも連携しながら、能力向上や、働く場の確保に取り組んでいくことが必要である。

#### (参考) この施策実現のための主な事務事業

	事業名	19年度予算 (千円)*	20年度予算 (千円)*	19年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	ほっとはあとセンター運営助成	18,086	18,086	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
2	身体障害者通所授産施設運営費補助	133,906	133,963	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
3	身体障害者福祉工場運営助成	56,199	55,888	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
4	盲人三療指導所運営及び技術指導事業助成	5,239	5,239	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
5	知的障害者福祉工場運営費	76,370	75,925	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
6	知的障害者施設運営費補助	76,917	76,917	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
7	心身障害者通所援護事業	648,125	587,355	効率化等による見直し	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
8	知的障害者自立訓練センター運営補助	38,546	0	効率化等による見直し	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
9	精神障害者通所授産施設	73,224	72,169	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
10	精神障害者通所訓練事業補助金交付事業	520,719	458,114	効率化等による見直し	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
11	ほっとはあとセンター新店舗設置整備費	8,986	0	終了	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
12	ほっとはあとセンター店舗運営助成	1,873	6,373	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課

13	就労継続支援施設（B型）整備助成	121,244	0	終了	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
14	京都市朱雀工房	33,345	33,345	現状のまま継続	保健福祉局こころの健康増進センター
合計		1,812,779	1,523,375		
うち、主たる事業の合計 （従たる事業の合計）		1,812,779 (0)	1,523,375 (0)		

\* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1123	高齢者や障害のあるひとの能力向上や働く場の確保
-----	------	-------------------------

指標名	障害のあるひとの通所授産施設等の施設数（人分）
-----	-------------------------

担当課	障害保健福祉課	連絡先	222-4161
-----	---------	-----	----------

### 1 指標の説明

通所授産施設・福祉工場の利用可能人数

### 2 指標の意味

障害のあるひとの社会参加，働く機会の確保状況を示す指標

### 3 算出方法・出典等

当該施設の設置状況

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	1,360	1,390	30人分増	51人分増	プランでは、プラン策定時（14年度完了時）の設置数と目標数との差255人分を、5年間で整備することとしていることから、必要な年間増加数を51人分とした。	58.8%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	1,371人分	19年度	99.20%	「京都市障害者施策推進プラン」数値目標

### 5 評価基準

目標値に対する達成度が  
a：100%以上  
b：70%以上～100%未満  
c：30%以上～70%未満  
d：10%以上～30%未満  
e：10%未満

### 6 基準説明

単年度目標値に対する達成度が100%以上をaとし，以下を4段階に基準設定した。

### 7 評価結果

18	19	20
a	a	c

指標名	シルバー人材センターの就業率（%）
-----	-------------------

担当課	長寿福祉課	連絡先	251-1106
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

社団法人京都市シルバー人材センターの会員のうち，1年間に1回以上の就業の機会があった割合

### 2 指標の意味

シルバー人材センター会員に就業の機会を提供することで，どの程度，会員の社会参加や生きがいがいづくりに寄与できたかを示す指標

### 3 算出方法・出典等

就業実人数÷年度末会員数×100  
出典：シルバー人材センター事業統計年報

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	71.4	68.0	3.4ポイント減	93.9	政令指定都市1位（平成19年度）	72.4%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	政令指定都市13位（平成19年度）	-	-	-	-

### 5 評価基準

政令指定都市の就業率（平成19年度）の順位から，  
a：1位  
b：2位～5位  
c：6位～9位  
d：10位～13位  
e：14位～17位

### 6 基準説明

就業の機会をどれだけ提供できるかは，どれだけ仕事を受注できるかにかかっており，景気の動向に大きく左右されるため，大都市間の比較で評価することとし，政令指定都市順位の1位から最下位を5段階に区分することで基準を設定した。  
1位値 93.9（浜松市）  
17位値 55.0（川崎市）

### 7 評価結果

18	19	20
d	c	d

施策名	1123	高齢者や障害のあるひとの能力向上や働く場の確保
-----	------	-------------------------

指標名	シルバー人材センター会員数（人）
-----	------------------

担当課	長寿福祉課	連絡先	251-1106
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

シルバー人材センターに登録している会員の総数

### 2 指標の意味

就業を通じての社会参加や生きがいがいつくりに意欲を持ち、シルバー人材センターに登録している60歳以上の高齢者の総数を示す指標

### 3 算出方法・出典等

シルバー人材センターに現在登録している高齢者数  
出典：シルバー人材センター事業統計年報

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	4,464	4,699	235人増	499人増	平成15年度の対前年度会員増数	47.1%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	政令指定都市 9位 (平成19年度)	-	-	-	-

### 5 評価基準

過去5年間の会員数の伸びと比較して、  
a：最大の伸びであった  
b：伸びの平均値よりも高い伸びであった  
c：伸びの平均値と同水準であった  
d：伸びの平均値より低い伸びであった  
e：マイナスの伸びであった

### 6 基準説明

会員になるかどうかは自主的判断によるため、目標値を設定できない。そのため、過去5年間の会員数の推移により評価することとする。平成15年度は過去5年間で比べて、最大の伸びであった。過去最大の伸び 499（平成15年度）  
平均値 218

### 7 評価結果

18	19	20
d	d	b

指標名	シルバー人材センターにおける就業延べ人員（人）
-----	-------------------------

担当課	長寿福祉課	連絡先	251-1106
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

シルバー人材センター会員のうち、1年を通じて1回以上就業した会員の延べ人数

### 2 指標の意味

シルバー人材センター会員に提供する就業をどの程度受注できたかを示す指標

### 3 算出方法・出典等

就業実人員×日数の総合計  
出典：シルバー人材センター事業統計年報

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	377,863	368,237	9626人減	422,536人増	昨年度実績＋人員数の過去最大の伸び人数	87.1%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	政令指定都市 10	-	-	-	-

### 5 評価基準

過去5年間の就業延べ人員の伸びと比較して、  
a：最大の伸びであった  
b：伸びの平均値よりも高い伸びであった  
c：伸びの平均値と同水準であった  
d：伸びの平均値よりも低い伸びであった  
e：マイナスの伸びであった

### 6 基準説明

会員に就業の機会を提供するため、シルバー人材センターが仕事を受注できるかは景気の動向が大きく影響する。そのため、過去5年間における就業延べ人員の推移により評価することとした。平成16年度は過去5年間で比べて、最大の伸びであった。過去最大の伸び 44,673（平成16年度）  
平均値 34,803

### 7 評価結果

18	19	20
b	d	e

施策名	1123	高齢者や障害のあるひとの能力向上や働く場の確保
-----	------	-------------------------

指標名	障害者雇用率 (%)
-----	------------

担当課	障害保健福祉課	連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1
-----	---------	-----	-----------------

### 1 指標の説明

府内における企業の障害者実雇用率

### 2 指標の意味

障害のあるひとの企業における雇用状況を示す指標

### 3 算出方法・出典等

厚生労働省資料

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	1.64	1.71	0.07ポイント増	1.64	過去5年間の最高値	104.3%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	20位/47都道府県	-	-	-	-

備考	平成18年4月から、精神障害者が実雇用率の算定対象とされた。
----	--------------------------------

### 5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が  
a : 100%以上  
b : 95%以上100%未満  
c : 90%以上95%未満  
d : 85%以上90%未満  
e : 85%未満

### 6 基準説明

単年度目標値に対する達成度が100%以上をaとし、以下を4段階に基準設定した。  
最高値 : 1.64 (平成18年度)  
最低値 : 1.56 (平成14年度)

### 7 評価結果

18	19	20
a	a	a